

新しい交流施設

新生八女市に誕生する文化・スポーツ施設、情報発信の拠点を紹介します。

主な交流拠点施設



- ① 八女市民会館「おりなす八女」 ② 八女観光物産館「ときめき」 ③ 八女市子育て支援総合施設「やめっこ未来館」
- ④ ペんがら村 ⑤ 岩戸山歴史文化交流館（仮） ⑥ 道の駅たちばな ⑦ ほたとと石橋の館 ⑧ 茶の文化館
- ⑨ グリーンピア八女 ⑩ 八女東部スポーツ公園「グリーンフィールド八女」 ⑪ 杣の里溪流公園 ⑫ 夢たちばなビレッジ
- ⑬ 大淵地区地域間交流施設（仮称） ⑭ 矢部地区地域間交流施設（仮称） ⑮ ふるさとわらべ館 ⑯ 星の文化館

新生八女市のシンボルとして、平成23（2011）年6月に開館した総合文化施設。本格的なコンサートや演劇に対応した「ハーモニーホール」、小規模イベント用の「はちひめホール」、会議や講演などに使える研修棟や交流室などから成り、八女公園を臨む桜カフェもあります。

施設内はバリアフリーで、ホールには車いす席や親子席、授乳室なども完備しています。ピアノの最高峰とされるベーゼンドルファーとスタインウェイが置かれており、内外の著名ミュージシャンによるコンサートが開かれています。



交流を目的とした多機能文化施設

八女市民会館 おりなす八女



八女市の多彩な魅力を発信

八女観光物産館 ときめき



八女市の情報発信の拠点として、平成24（2012）年4月に開館しました。伝統工芸品や特産品、銘酒など八女全域の特産品を一堂に集めた物産館、地域の魅力を発信・提供する観光案内所、地元の食材にこだわった郷土食の店があります。八女伝統工芸館に隣接しており、福島地区の街並み散策、さらには広域観光の足がかりとして人気を集めています。



天然芝コートの多目的グラウンド

八女東部スポーツ公園

グリーンフィールド八女

黒木町のグリーンピア八女内に平成25（2013）年11月にオープンした、天然芝（夏芝・冬芝）のコート2面のスポーツ公園。プレオープニングイベントとして、9月にサッカー日本代表OBチームと、八女選抜チームの試合も行われました。サッカーやグラウンドゴルフを中心に、芝生を痛めない催しであれば、市民のレクリエーションなどに広く活用することができます。



全国有数の埋蔵文化財の宝庫、八女の魅力を発信

岩戸山歴史文化交流館（仮称）



教科書などにも掲載されている全国屈指の古墳で、ファンも多い岩戸山古墳の魅力を広くアピールするために、関連資料の保存・展示を通して市内外の人びとが集い、交流できる施設を整備します。この施設では、岩戸山古墳や石人石馬などの貴重な史跡や文化財を紹介するとともに、市内の観光拠点への案内等を行う北の玄関口となります。工事の完了は平成26年6月末日を予定し、平成27年11月の開館を目指します。

八女市子育て支援総合施設

やめっこ未来館



第4次八女市総合計画では「安心して子どもを産み育てることができるまちづくり」を掲げて、子育て家庭への支援と保育サービスの充実を重点的に推進しています。「子育て総合支援施設整備事業」は、公立保育所としてのサービス提供とともに、市全域の子育て支援サービスを提供・連絡調整する機能を持つ施設として整備します。

旧小学校校舎をスポーツ合宿などに活用

大淵地区地域間交流施設（仮称）



閉校した黒木町の大淵小学校校舎を、子どもからお年寄りまで幅広く利用できる宿泊型交流施設及び避難所を兼ねて整備。グリーンフィールド八女に集まるサッカーチームのスポーツ合宿などに活用してもらいます。地域情報の発信場所として、文化歴史を紹介するコーナーを設けるほか、自然や農林業など地域の特性を活かしたイベントも企画。林業が盛んな地域柄を反映した八女産材を使用し、木の温もりが感じられる施設とします。

周遊観光やアウトドアレジャーの拠点をめざす

矢部地区地域間交流施設（仮称）



自動車による八女市内周遊観光客や登山、キャンプ、釣りなどアウトドアレジャー客に対応するため、国道沿いの駐車場やトイレ等を備えた休憩・交流施設を整備します。地域の食材を使ったレストランや特産品の販売施設、イベントスペース、観光情報提供スペースなどを設け、施設自体が魅力的な観光スポットとなることを目指します。こちらも、八女産材をふんだんに使用した施設とします。